

韓 国 語

第 1 高等学校教科担当教員の意見・評価

1 前 文

今年の受験者総数は206名、平均点は145.67点であった。受験者の得点分布を見ると、ある一定数の「高等学校で4～5単位を3年間学習した生徒」が受験していることが伺える。共通テスト以降、そのような学習者が点数を取ることができ、かつ、思考力を問う良質の出題となっているが、残念ながら毎年のように指摘している第1問については良問と言えるか疑問が残る。

平成30年告示の学習指導要領では、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を」育成することを目指している。従来の言語形式に関する「知識・技能」偏重の教育からコミュニケーション能力の育成に重きを置くよう改訂されたのである。以前は、外国語（英語）を6年間学び、音声規則や文法を理解していても、なかなか話すことができない状況を憂慮し、外国語を使って考え、判断し表現できるようにすることへの転換が求められている。それゆえ、「共通テスト」英語において、「4技能のうち『読むこと』『聞くこと』の中でこれらの知識が活用できるかを評価する。したがって、発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は作成しない」こととした。ここで言う発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は「共通テスト」韓国語における第1問に相当すると考えられる。では、「共通テスト」韓国語では、なぜこの第1問の形式を継続して出題しているのだろうか。第1問A発音に関する出題の理由として考えられるのは、問題作成者が、韓国語が持つ音韻の特徴に対する強いこだわりを持っているためではないかと推察する。確かに韓国語は他言語に比べ、「音の変化」が多く、「音の変化」を殆ど伴わない日本語話者にとっては習得上の壁になっていることは事実である。しかし、韓国語に接する機会が多くなり、いわゆる自然なコミュニケーション活動の中で音変化の技術を習得する生徒も多く存在する。学習指導要領の目的や内容が変わった今、「共通テスト」が、問題作成の基本的な考え方として引き継ぐべきなのは、これまで評価・改善を重ねてきた「良問」、つまり現在の第2問以降の問題の蓄積・成果ではないだろうか。令和5年度の問題作成部会の「出題に対する反響・意見等についての見解」にもその理由が述べられているが、高等学校における学習の到達度を測るといふ共通テストの実施目的に沿ったものとは言い難く、特に、その見解の中に「より幅広い実践的経験を持つ学生が有利になるような出題も少数あることは重要であると考え。」とあるが、これは「共通テスト」の問題作成方針にそぐわない考えであり、その出題は、学習指導要領から逸脱したものとなるのではないだろうか。

例年どおり本委員会では、平均点を基にした評価は行わず、「高等学校で4～5単位を3年間学習した生徒」が受験することを想定して各問題の評価を行う。また、その際の難易度の基準として、中級水準となる、韓国語能力試験（TOPIK）のⅡ（3～4級）及び「ハングル」能力検定試験の3級～準2級レベルを想定していることをここに明記する。

また、評価に当たっては、14ページに記載の8つの観点により、総合的に検討を行った。

2 内 容・範 囲

本項目では、前文の「高等学校で4～5単位を3年間学習した生徒」の学習到達度を測ることの

できる問題であるかどうかを判断した。また、紙面の制限上、第1問については、適切な問題とは言えない問題を中心に上げることとする。

第1問

A 発音に関する問題

問1, 問2共に、学習範囲内の発音規則、語彙であるが、その知識のみを問うことが、共通テストが求める思考力、判断力を測る問題と言えるだろうか。もちろん正しい発音をすること、韓国語において発音規則や発音の変化の知識を学ぶことは重要な学習項目ではあるが、正しい発音をすることだけが学習の目標にはなりえない。以下、問2について詳しく見ていく。

問2において、語幹のパッチム「ㄴ(ㄴ)」の後に続く語尾「-기」は[-끼]と濃音化して発音するため、誤答③「았기」、誤答④の「안기」を、それぞれ「안끼」と発音するということが分からないことで、③「今日はなぜかこの席に座るのが嫌です。」④「人形がとても大きくて抱えにくいです。」を表現できない、と弁別できるだろうか。また、③の言い換え「앉고 싶지 않아요. (座りたくないです。)」, ④の言い換え「못 안아요./안을 수 없어요. (抱えられません。)」と表現できない、と言えるだろうか。反対に、先の濃音化の知識を持ち、誤答の「인기(人気)」の「-기」のみ不規則に濃音化して発音するという知識を持っている学習者なら、先の表現ができる、と言い切れるだろうか。

残念ながら「共通テスト」韓国語では、スピーキングやリスニングがないので、正しい発音ができているか、正確に聞き取れているか、評価しにくく、そのことをリーディング形式のテストで測るのは難しいと思われる。ただ、あくまでも「共通テスト」は学習指導要領が重要視している実際のコミュニケーション能力を測るテストであるべきで、音変化の「知識」を問う問題にならないようにする必要があるのではないだろうか。

B 適切な助詞、語尾、語彙を選択する問題

問2の誤答①の「-ㄴ들」と問4の誤答②の「-거니」は、学習範囲外の語尾で良問とは言えない。問2, 問4以外は学習範囲内の語彙や文法であるが、その知識のみを問う問題の出題には疑問が残る。第2問以降でも充分問える問題であり、対話文や長文の中で問うことで思考力、判断力を問う問題になりうるのではないだろうか。

C 日本語文を韓国語文に直す問題

学習範囲の語彙、文法、表現、語順の知識を使って適切な韓国語文を作成する。正答となる韓国語文は日本語文の直訳では意味が通じないことを学習者に理解してもらうことを求めている問題である。問1は正答の韓国語文が学習範囲外の表現となっており、高等学校韓国語学習者にとっては良問とは言えない。

第2問 比較的長い会話文を読んで、空欄に入れる適切な表現を選んだり、会話文の内容を把握したりする問題

A 外国人が韓国人の友人に、歯医者に行くとき、どのように症状を伝えればいいのか、歯科医院の位置などについて交わされた対話文。以下に各問を見ていく。

問1 対話文における下線部㉔「メール」の内容にある空欄に入る文を選ぶ問題。対話文の内容を読み取れば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問2 前後の文脈を読み取れば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問3 対話文から歯科医院がどこにあるか、地図の中から正しい位置を選ぶ問題。地図を読む問題は外国語力以外の能力を求められることもあるが、今回は、比較的分かりやすく、

学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問4 対話文における空欄に入る語彙を選ぶ問題。類似した語彙ではあるが、学習範囲内の語彙で前後の内容を読み取れば解ける問題。

問5 本文の内容と合うものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

B 授業でグループ発表の内容を相談している会話文である。語彙、表現、場面設定、テーマともに適当であると言える。以下に各問を見ていく。

問1 2か所に共通して入る語尾を選ぶ問題。前後の内容が読み取れば解ける問題。

問2 空欄に「M・X・Y・Z」世代のいずれかを入れる問題。前後の内容が読み取れば解ける問題。

問3 会話文における「チミン」の発言として適切な文章を選ぶ問題。前後の会話の内容が読み取れば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問4 下線部⑱の「お互い他の世代をどのように見ているか、周りの人に聞いてみるインタビュー」の趣旨に合わないインタビューの回答を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問5 本文の内容と一致する文章を選ぶ問題。会話文全体の文意が把握できれば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

第3問 グラフや図表、イラスト等を使用した出題で、実際にありそうな場面や状況を想定し作成されれば良問となりうる。第1問が削除され、このような問題が増えることを切に願う。

A 図表やグラフが何を表しているか読み解く問題

女性の経済活動参加率が1984年に0.8%下がっているので、正答⑤の「経済活動に参加している女性の比率は全体的に増加している傾向を見せている。」を誤答と思うかもしれないが、「全体的に」という表現に気付けば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で良問と言える。

B ゴミの分別及びゴミ出しの案内文から必要な情報を読み取る問題

問1 案内文にあるゴミ出しの方法を理解し、それに合ったゴミ出しの方法を選ぶ問題。語彙や表現は平易だが、細かく案内文を読み取らねばならず、思考力、判断力を問う良問と言える。

問2 曜日を問う問題で、問1同様、思考力、判断力を問う良問と言える。

問3 案内文の内容と一致するものを選ぶ問題。選択肢が日本語で平易に思われるかもしれないが、案内文を隅々まで読み込まなければ解けない問題で、良問と言える。

C 公立図書館の資料貸出及び返却の方法について、3つの資料を読み比べながら解を導き出す問題である。ここで扱うのは以下の3つの資料である。

- a) 図書館利用案内
- b) 月カレンダー
- c) 友人同士の携帯電話でのメッセージ交換

いずれの資料も高等学校韓国語学習者にとって理解可能な語彙・表現を使用しており、適切な資料であると言える。以下に各問の内容を見て行く。

問1 図書館利用案内を詳細に読んで、内容が一致する文章を選ぶ問題である。案内文と問いの文章を丁寧に読めば解ける問題であり、良問と言える。ただ、還暦が60歳を指すことを知らない場合は、正答を導くことができない。正答率が約63%と語彙の難易度に比して低いのは、この辺りにつまづいたのではないかと想像できる。

問2 図書館利用案内と月カレンダーの2つの資料を見比べながら、案内に合った内容の文章を選ぶ問題である。カレンダーを見ながら、案内の中の細かな利用制限を確認すること

に手間が掛かるので、忍耐力を必要とするが、総じて良問の域と言える。予想外に正答率(約64%)が低いのは、休館日の確認ができなかったのではないかと推測する。

問3 メッセージ交換の内容と図書館利用案内を見比べながら、この利用者が貸出の期間延長ができない理由を導き出す問題である。メッセージ交換をしている利用者が借りた資料が、非図書(CD若しくはDVD)であることを見極める必要がある。決め手になるのは、案内中の「非図書は延長不可」という文章と「非図書は返却箱への返却不可」という2文である。期間延長ができない他の文章に惑わされたためか、正答率は、約48%と非常に低い数値が出た。存外に難しい問題であったことがわかる。

第4問 長文読解の問題である。ゲノム(遺伝子情報)分析技術の発展がもたらす新たな医学の様相を6つの特徴を例示しながら、日常生活に及ぼす影響について論じたエッセイである。筆者が挙げるゲノム分析技術の発展がもたらす新たな医学の特徴は、「予測医学」「予防医学」「オーダーメイド医学」「能動的参画医学」「精密医学」「持続医学」である。また、遺伝子技術の発展は、希望的な側面がある反面、倫理的な問題が未解決であることも述べている。使用語彙は漢字に由来するものが多く、また専門的な用語(遺伝子、ゲノム、四柱推命等)もあり若干難易度が高いものとなっている。さらに文章量自体も多く、本委員が高校生の標準受験者と想定するTOPIK(韓国語能力試験)4級取得者程度の能力では文意を正確に読み取るのは難しいのではないと思われる。以下に各問を見ていく。

問1 文章中に使用されている漢字語の同音異義語を見極める問題である。比較的使用頻度が高い漢字語を使用しており、適当な問題と言える。

- (ア) 費(비)用 ①対比 ②記念碑的 ③制作費 ④警備
(イ) 選(선)定 ①船長 ②最善 ③膳物 ④選挙
(ウ) 創(창)造 ①創刊号 ②同窓 ③流暢 ④合唱団

問2 韓国語の一人称複数を表す우리が「我が国(韓国)」という意味も表すことを知っているかどうか試す問題。適当な問題と言える。

問3 文中の下線部㉔「科学的な‘四柱八字(四柱推命)’」が指す内容を選ぶ問題。‘四柱八字(四柱推命)’が、生まれた年月日で人の運勢を推測する、所謂伝統的な占いであることを知識として理解していなくても一致した文章を選択することは可能。正答は①「生まれ持った遺伝情報により将来の疾病などを予測する」。良問と言える。

問4 文中の「これが実現される日には各種疾病を経験しつつ、医学を発展させてきた全ての人類が36とも言えるであろう。」の36に挿入する適当な文を選ぶ問題。正答は②「全面的に新たな進化の段階に入った」。適当な問題と言える。

問5 文中の下線部㉗「遺伝子技術がもたらす未来医学」の事例に当てはまらないものを選択する問題。文中の分析技術の発展がもたらす新たな医学の6つの特徴を理解できれば正答を導くことができる。設問の各事例は以下のとおり。

- ①ゲノム地図上呼吸器が弱いため、予め集中的に管理を行う。⇒「予防医学」
②どんな病にかかろうとも自分に合う自分だけの処方を受けることができる。⇒「オーダーメイド医学」
③一旦病気にかかると、専門家である医師に治療を全て任せる。⇒?
④遺伝情報に依拠して治療したため効果が長続きする。⇒「持続医学」

上記より、6つの特徴に当てはまらないのは③であることが分かる。良問と言える。

問6 文中38に挿入できる共通の単語を選ぶ問題。正答は、④맞춤(あつらえ、オーダーメイド)。順番に、「オーダーメイド医学」「オーダーメイド医療」「オーダーメイド人生」とな

る。ㄷ의 의미と用法を理解していれば解ける問題。適当な問題と言える。

問7 「このままであれば、全ての人々が自身の遺伝子情報を手にいれる日が遠からず訪れるかも知れない。」の挿入場所を考える問題。正答は㉒。各段落の文意を正確に把握していれば、正答を導くことが出来る問題で、適当な問題と言える。

問8 3つの段落につける適当な見出しを以下の a b c から選ぶ問題。以下の順番が正答。a 「遺伝子技術の発展と展望」 c 「遺伝子技術が日常生活に及ぼす影響」 b 「遺伝子技術を取り巻く倫理的問題」。各段落の文意を正しく理解すれば正答を導くことができる。適当な問題と言える。

問9 下線部㉑「神の領域」が表しているものを選ぶ問題。正答は㉔。国語的な思考力を必要とする問題。前後を訳してみると、「倫理的問題は時に大きな論争を引き起こすこともあるが、これは遺伝子技術をめぐり人間が神の領域（＝自然の摂理）に挑戦する行為であると考えられる人々もいるためである。」となり、遺伝子技術の発展は自然の摂理を司る神の領域に踏み入ることになるのではないかと、という文意になる。少々難易度の高い問題。

問10 本文の内容と一致する文章を選ぶ問題。難易度が高いので、まずは日本語訳を見てみることにする。

- ①百万ウォン程度あれば、一人が最低限の健康を維持することができる。
- ②自分の体のゲノムを知れば、病を予防したり、適切な治療を行うことができる。
- ③遺伝子技術の倫理的問題は、人間が神を信じられないことから生じる。
- ④デジタルコンピュータは開発当時から多様な用途で使用可能であった。
- ⑤政府の政策は、医療、保険、食生活など日常に変化をもたらさざらう。
- ⑥生命科学に対する規制が厳しいと、遺伝子技術の発展が遅れることもある。

まず簡易に選ぶことができるのは㉒であろう。次に候補に挙がるのが㉕と㉖であろう。㉕は一見、正答のように見えるが、本文中、保険や食生活についての言及はないので、正答は㉖となる。丁寧な読解が必要となる。国語力が必要。

3 ま と め（総括的な評価）

前文でも言及したが、今回の試験問題について概括的に評価をするのであれば、総じて「良問」が多いと言えよう。ただ、第1問については、今後問題作成部会委員と評価委員双方による議論が必要となつてこよう。受験者の得点分布を見る限り、以前に比べて純粋に高等学校で韓国語を学習した「高等学校韓国語学習者」の比率が増しているように思われる。にもかかわらず、平均点が例年と比して変化がないところから、高等学校純粋学習者が果敢に本共通テストに挑み、難易度が高く複雑な問題から一定程度の点数を得ていることが分かる。これらの結果から、ここ数年の間で、「高等学校韓国語学習者（いわゆる純粋学習者）」の韓国語運用能力は確実に向上して来ていることが分かる。今後は、今年度に準ずる難易度の問題を継続して出題し、その間「高校韓国語学習者」の受験者が徐々に増えていくことで、高等学校における学習の到達度を測るという共通テストの実施目的に沿った形に近付いていくのではないだろうか考える。